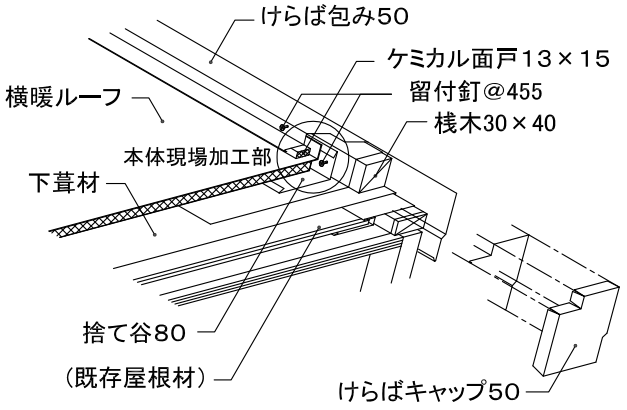
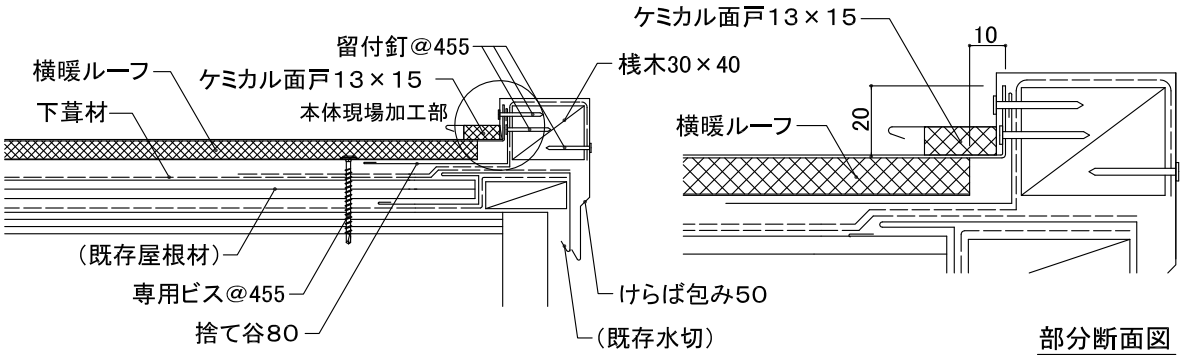
横暖ルーフ	工法	既存屋根材
	重ね葺き	セメント系新生瓦 アスファルトシングル

4）けらば部

②けらば包み50

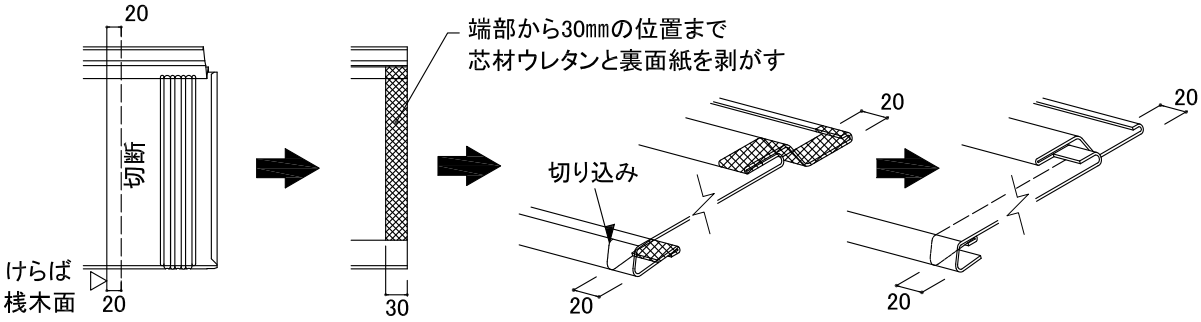
●下葺材は既存水切にかぶせて既存屋根材の上に張ります。
●けらば部に桟木30×40を取り付け、桟木を包むように下葺材を増し張りします。
●捨て谷80は留付釘（ステンレススクリュー釘長さ32㎜以上）を用いて、455㎜以下の間隔で桟木に留め付け、けらば部に図のように現場加工した横暖ルーフ本体を施工します。
●本体の図の位置にケミカル面戸13×15を貼り付け、けらば包み50をかぶせるように施工し、留付釘（ステンレススクリュー釘 長さ32㎜以上）を用いて、455㎜以下の間隔で桟木に留め付けます。
●軒先端部の仕上げはけらばキャップ50を リベットまたは釘（ステンレススクリュー釘 長さ32㎜以上）で桟木に留め付けます。





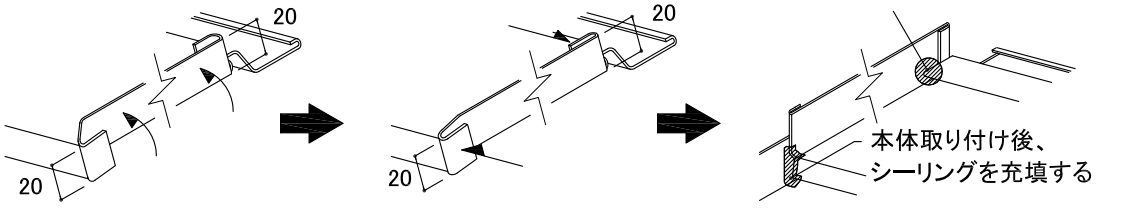
部分断面図

■施工ポイント・現場加工図
●横暖ルーフ本体のけらば部分は、図のように加工します。



①けらば桟木面から図の寸法で切断します。

②網掛け部分を切り落とします。



③切り込みを入れた部分から垂直に起こします。

④Rの部分をつぶします。

⑤接合部からの雨水の浸入を防ぐためシーリングを充填します。